

第 3 回海釣機能専門分科会資料

遠賀漁業協同組合ヒアリング結果

ヒアリング実施日時 9月28日(金) 15:30~17:00

漁協出席者：中西組合長・石橋参事・河村参事補佐

事務局出席：グローバルプロジェクト河崎・JTB北九州支店山田・芦屋町水摩・後藤

I. 釣り場（エリア）利用範囲について

◆利用範囲

東防波堤の利用は問題ない。

◆利用者の受入

- ・東防波堤の利用開放、1号野積場の駐車場整備が進むことで、釣り客の増加がある。
- ・遠賀川河口への利用も増加する可能性があり、東防波堤1号野積場からの導線整備。
- ・利用者と漁業従事者の導線を分けることで良好な関係が築ける。
（1号野積場から漁協の事務所裏を通らないように、例えばなみかけ大橋から階段を使い、2号物揚場へ移動出来るような導線整備）
- ・船揚場の違法利用防止フェンスの設置等

【ヒアリング結果】

- ◆場所として漁業者の理解を得ることができるか
⇒東防波堤を釣り場所にする事は問題なし。導線を明確にし、フェンスなどを設ければ遠賀川河口添いの2号物揚場も今は使っていないので、問題はないと思う。
- ◆利用者の受入に関して、良好な関係を築けるか
⇒東防波堤を開放し、駐車場も整備すると人が増え、立ち入り禁止の遠賀川河口での釣り人も増える可能性が高い。東堤防を開放するタイミングで漁協敷地内の導線も整備する事が必要。利用者と漁業者の利用区域の区分・利用導線の整理
⇒1号野積場を駐車場にした場合、東堤防への導線は問題ないと思われる。上記のとおり遠賀川河口への釣り人も増えるため、1号野積場から漁協の事務所裏を通らないように、例えばなみかけ大橋から階段を使い、2号物揚場へ移動出来るような導線整備が必要。
⇒船揚場の違法利用が多いため、ここにはフェンスを設置するなどして侵入できないようにして、釣り人の利用区域を明確にして欲しい。

Ⅱ. 安全対策

◆利用者の安全面と漁業者が活動する上で必要となる安全対策について

東防波堤は、安全フェンスはあるので、落下した際の対策が出来れば問題ないのではないか。

◆駐車場 トイレ、洗い場、管理棟等の配置

- ・1号野積場を駐車場にする事は、問題ない。
- ・有料にすると漁協の敷地内等に違法駐車をする為、駐車できないように整備するか、駐車場は無料が望ましい。

◆駐車場 トイレ、洗い場、管理棟等の配置

- ・ルールは定める必要がある。

【ヒアリング結果】

◆利用者の安全面と漁業者が活動する上で必要となる安全対策について

⇒東堤防にフェンスはあるので、落下した際の対策が出来れば問題ないのではないか。

⇒2号物揚場については、足場などの整備が必要と思われる。2号物揚場の電柱と照明は、現在漁協は利用しておらず、今後河川事務所に管理をして欲しい

◆駐車場 トイレ、洗い場、管理棟等の配置

⇒1号野積場を駐車場にする事は、漁協は使っていない為問題ない。ただし有料にすると漁協の敷地内等に違法駐車をする為、駐車できないように整備するか、駐車場は無料が望ましい。

◆管理上での連携策

・緊急時の関わりや体制⇒緊急時のかかわりなどは特に考えていない。ルールは定める必要がある。

Ⅲ. 付加価値（サービス）

- ・行政から委託を受けて、利用区域を管理するのではれば可能性としてゼロではない。
- ・体験などは、本業（漁）が忙しく仕事で手いっぱい状況であり、現状は難しい。
- ・駐車場は無料とすることは不法駐車を防止できる。
- ・利用範囲の管理は検討していく。
- ・体験等の取組は現状は厳しい。今後、漁業従事者と共に機運醸成を図っていくことが必要

【ヒアリング結果】

- ◆運営における関わりの可能性
⇒仮に行政から委託を受けて、開放する区域を管理するのであれば可能性としてゼロではない。
- ◆遊漁船の体験メニューの商品化、魚さばき体験などの連携や受入は可能か
⇒遊漁船は既に仕事として行っている人もいる、体験メニューなどは船頭により対応出来るか分かれるのではないかと。釣り体験は漁師の釣り方は一般の釣り人と異なるので難しい。その他体験などは、本業（漁）が忙しく仕事で手いっぱい状況であり、現状は難しい。数年先は分からないが、現状は難しいのではないかと。

I. II. IIIにおける可能性と課題、課題解決策について

- **東防波堤の利用は可能**
- **利用者と漁業従事者の導線、遠賀川河口エリアまでの導線整理による、利用者と漁業従事者の安全な受入が必要**
- 利用区域の管理についても、可能性はある。
- 利用者と漁業者がwin-winであることも望んでいる。
- 課題解決に向けては、今度、漁業者（組合員）への説明の場を設けた方が望ましい。

【ヒアリング結果】

- 漁協としても、釣り客と漁業者の利用に関する役割と整理があれば、受入への問題は無い。
- 利用区域の管理についても、可能性はある。
- 利用者と漁業者がwin-winであることも望んでいる。
- 課題解決に向けては、まとまった段階で、漁業者（組合員）への説明の場を設けた方が望ましい。